

10代から学ぶパーソナルファイナンス

Lesson 3 お金を貯める、増やす、借りる



日本FP協会

お金の運用方法を学ぶ



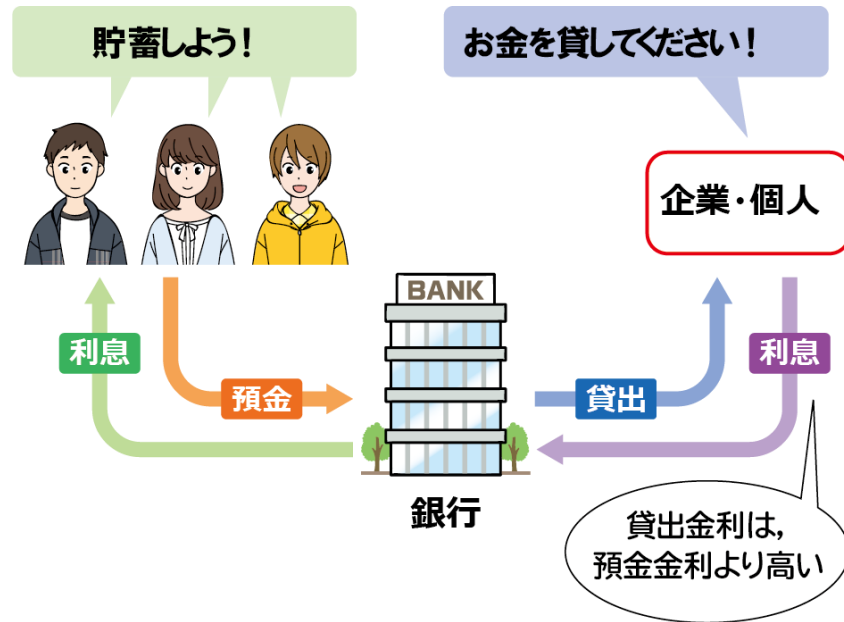
I お金を貯める

I お金を貯める

Q1 銀行にお金を預けると、
どうして利息が付くの？

I お金を貯める

● 利息は、お金の「レンタル料」とも いわれる



I お金を貯める

- 一定期間（通常1年間）に、
どのくらいの 割合 で利息が
付くのかを表すものが 金利

➡ 金利が高ければ、利息がたくさん付く

I お金を貯める

金利の種類

● 単利

最初に預けた元本に対してだけ
一定の割合で付く利息のこと

I お金を貯める

金利の種類

● 複利

最初の元本に一定期間後の利息を加えたものを、次の元本として、その元本に対して付く利息のこと

I お金を貯める

Q2 同じ金利なら、“単利”と“複利”
どちらの方が利息は多くなる？

単利

複利

I お金を貯める

100万円を年利2%で貯金。5年後の口座の残高は
単利と複利で預けた場合、それぞれいくらになっている？

単利

①

110万円

複利

②

110万円より多い

③

110万円より少ない

I お金を貯める

現在のおもな金利

普通預金0.001%

【参考】

1990年頃 2%

定期預金0.002%

【参考】

1990年頃 5%



Ⅱ お金を増やす

Ⅱ お金を増やす

Q3

もっているお金の増やし方は？



Ⅱ お金を増やす

金融商品の3つの特性

●流動性

必要な時に
すぐ換金できるか



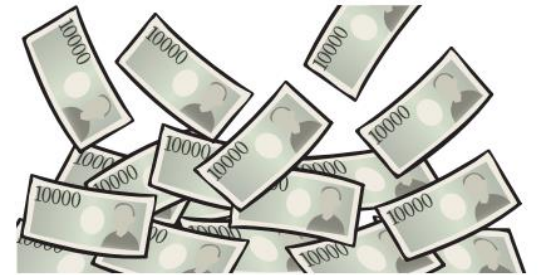
●安全性

元本(元手)や利息の
支払いが確実か



●収益性

期待できる
収益の大きさ



Think!

Q4

次の資金を増やす時、あなたなら“金融商品の3つの特性（流動性、安全性、収益性）”のうち、どれを重視する？

A 3年後の結婚資金 【 】

B 10年以上先の教育資金 【 】

C 20年以上先の老後資金 【 】

Ⅱ お金を増やす

**この3つをすべて兼ね備えている
金融商品はない。**

**自分の資金のニーズや目的に
合わせて、どの特性を重視した
金融商品を選ぶかを考えよう。**

Ⅱ お金を増やす

- 収益性の高い金融商品を選ぶ場合、忘れていけないのが リスク である。

Ⅱ お金を増やす



「Don't put all your eggs
in one basket」



「1つのカゴに、

すべての卵を盛るな」

Ⅱ お金を増やす

➡ 投資をする場合、1つの資産に
集中して投資するのではなく、
“値動きが異なる複数の資産”に
「分散投資」することで、リスクを
抑えることができるといわれている。

Ⅱ お金を増やす

- 「人生100年時代」、手持ちの資産を取り崩す期間が長くなり、
“資金寿命”をいかに延ばすかも重要になっている。

Ⅱ お金を増やす

Q5 投資の対象は金融商品だけではない。
他にどんなものがある？



Ⅱ お金を増やす

- 投資の対象は金融商品だけでなく、仕事に必要なスキルを身につけたり、資格を取得したりするなど、自分に対する 自己投資 も大切！

Ⅱ お金を増やす

仕事に就いてからも、必要と感じた

タイミングで学び直す リカレント教育

にも注目が集まっている。



Ⅲ お金を借りる

Think!

Q6 あなたは、友達にいくらまでなら
お金を貸せますか？

知らない人だったら？

家族だったら？

Ⅲ お金を借りる

- お金を借りられるのは、
借りる人に「信用」があるから

Ⅲ お金を借りる

- 銀行などでローンを組んで
お金を借りた場合、

借りた金額 (元金) + 利息 (レンタル料)
を返済する。

Ⅲ お金を借りる

$$\text{借りた金額 (元金)} \times \frac{\text{金利}}{\text{借入期間}} = \text{利息}$$

Ⅲ お金を借りる

Q7 お金を借りる時の金利は、
どうやって決まるの？

- 信用が 高 ければ、
返済が行われない可能性が低いので、
金利は 低 めに設定される。

Ⅲ お金を借りる

Q7 お金を借りる時の金利は、
どうやって決まるの？

- 信用が 低 ければ、
返済が行われない可能性を想定して、
金利は 高 めに設定される。

Ⅲ お金を借りる

もし、返済できなくなったら…

- **担保となった財産の差し押さえ**
- **個人信用情報機関に情報が登録され、その後の借り入れが難しくなることも**

Ⅲ お金を借りる

お金を借りる際には、

“どれだけ借りられるか よりも、
きちんと返済できるか”の

視点を大切に

Ⅲ お金を借りる

Q8 進学費用の準備が難しい…。

どうする？

Ⅲ お金を借りる

● 奨学金

“返還（返済）が必要なもの”と、
“給付されるもの”がある

● 教育ローン

必ず返済する

Ⅲ お金を借りる

教育ローンと奨学金の違い

	教育ローン (国の教育ローン)	奨学金 (返済が必要な貸与型)
返還する人	保護者	学生
最大の借入額	上限350万円 (一定の要件を満たす場合増額可)	毎月12万円 (第二種の上限金額・学部によって増額可)
返済開始日	借入日の翌月又は翌々月	卒業後 (貸与が終了の翌月から数えて7か月目)
金利	1.95%	0.74% (令和5年度4月時点の利率固定方式の場合 金利は貸与終了時決定)

Ⅲ お金を借りる

費用を準備することが難しくても、
「お金を借りる」という選択で
ライフプランを実現することもできる。

金利や貸付条件とともに、
「きちんと返済できるかどうか」も
よく確認しましょう。

まとめ

- **金利には単利・複利がある。**
お金を貯める際は、利息がいくら付くのか調べておこう。
- **金融商品を選択する際は、**
商品それぞれの特性とリスクを踏まえることが大切。
- **必要な費用が不足している場合、お金を借りるという**
選択もある。
貸付条件等とともに、きちんと返済できるかを確認しよう。